

1日目 6月11日(金) プログラム

9:30-9:35

開会の挨拶

9:35-10:25

一般演題 G 1 事故分析

座長：一杉正仁（獨協医科大学法医学講座 准教授）

G1-1 熊本県における交通事故関連法医解剖の現状

-アルコール・薬毒物の検出状況について-

米満 孝聖¹、大島 徹²、西谷 陽子¹

¹熊本大学大学院生命科学研究部法医学、²秋田大学大学院医学研究科 法医学

G1-2 軽微な車両破損の交通外傷にて受傷した心損傷の一例

-交通外傷傷病者と交通車両破損状況の研究-

本村 友一¹、阪本 雄一郎¹、朽方 規喜¹、益子 邦洋¹、横田 裕行²、富永 茂³、
西本 哲也⁴

¹日本医科大学千葉北総病院救命救急センター、²日本医科大学救急医学、

³日本大学理工学部機械工学科、⁴日本大学工学部機械工学科バイオメカニクス研究室

G1-3 ドライブレコーダーの映像による事故抑止効果について

上西 一美 有限会社ディクリエイト

G1-4 コンピューターシミュレーションを活用した交通事故の鑑定事例

本宮 嘉弘 新潟県警察本部 科学捜査研究所

10:30-11:10

特別講演 1

座長：原田俊一（国際医療福祉大学熱海病院脳神経外科 教授）

脳脊髄液減少症の病態と発生機序

- Epidural lymphatic system を介する髄液圧調節メカニズムと髄液漏出との
形態学的関係を中心にして -

三浦 真弘（大分大学医学部医学系研究科生体構造医学）

11:15-11:55

特別講演 2

座長：上田守三（東邦大学医学部客員教授）

交通外傷後脳脊髄液減少症の診断と治療

篠永 正道（国際医療福祉大学熱海病院 脳神経外科）

12:05-12:35

ランチョンセミナー

座長：岩淵聡（東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 教授）

プロスポーツ選手と抗ヒスタミン薬

～ベスト・パフォーマンスのために～

鳥海 正明（鳥海内科 院長）

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

12:45-13:10

総会

13:10-14:25

一般演題 G 2 重症度判定、搬送

座長：浅井 康文（札幌医科大学医学部救急・集中治療医学講座 教授）

佐久間 正祥（水戸赤十字病院 院長）

G2-1 新しい意識障害評価スケール ECS の特徴

奥寺 敬、有嶋 拓郎、若杉 雅弘、濱田 浄司、橋本 真由美

富山大学大学院危機管理医学（救急・災害医学）

G2-2 4 輪車事故運転者における多発外傷の検討

柴田 智行¹、谷中 清之²、松村 明³、小野 古志郎⁴

¹総合守谷第一病院、²筑波記念病院

³筑波大学大学院 人間総合科学研究科 機能制御医学（脳神経外科学）

⁴（財）交通事故総合分析センター

G2-3 4 輪レースの外傷における HANS(Head And Neck Support)の文献的考察

川崎 嶺夫 川崎病院

G2-4 ドクターヘリ高速離着陸訓練を終えて

高本 勝博¹、杉山 聡²、福島 憲治²、輿水 健治¹、堤 晴彦²

¹埼玉医科大学総合医療センター 救急科

²埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター

G2-5 北海道の、ヘリコプターの高速道路着陸に関する現状

浅井 康文¹、窪田 生美¹、沢本 圭悟¹、水野 浩利¹、前川 邦彦¹、丹野 克俊¹、
森 和久¹、奈良 理²、高橋 功²

¹札幌医科大学医学部救急集中治療医学講座、高度救命救急センター、

²手稲溪仁会病院救命救急センター

G2-6 固定翼による長距離患者搬送

浅井 康文¹、水野 浩利¹、丹野 克俊¹、森 和久¹、奈良 理²、高橋 功²、
小野寺 英雄²、沢本 圭吾³、鈴木 靖³

¹札幌医科大学医学部救急集中治療医学講座、高度救命救急センター、

²手稲溪仁会病院、³北海道消防学校

14:30-16:00

シンポジウム S 1 高速道路上におけるドクターヘリ

座長：坂本 照夫（久留米大学高度救命救急センター 教授）

小濱 啓次（川崎医療福祉大学 教授）

S1-1 高速道路本線を活用した埼玉県ドクターヘリ離着陸訓練

杉山 聡¹、高本 勝博²、福島 憲治¹、輿水 健治²、堤 晴彦¹

¹埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター、

²埼玉医科大学総合医療センター救急科

S1-2 愛知県ドクターヘリと高速道路救急

井上 保介¹、三木 靖雄²、中川 隆²、小池 則満³、野口 宏⁴

¹愛知医科大学地域救急医療、²愛知医科大学病院高度救命救急センター、

³愛知工業大学、⁴藤田保健衛生大学病院

S1-3 高速道路で発生した交通事故に対するドクターヘリ運用の現状と展望

益子 邦洋、松本 尚、原 義明、朽方 規喜、金丸 勝弘、斎藤 伸行、八木 貴典、
鉄 慎一郎、飯田 浩章、上西 蔵人、増田 幸子、本村 友一
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター

S1-4 高速道の事故症例に対するドクターヘリ出動の検討

中村 篤雄¹、坂本 照夫¹、山下 典雄¹、高須 修¹、高松 学文¹、前田 彰¹、
新山 修平¹、宇津 秀晃¹、合原 則隆¹、橋本 芳明²、箱田 龍一²、安部 茂²
¹久留米大学病院高度救命救急センター、²西日本空輸株式会社

S1-5 高速道路本線上に着陸しなかった 11 例の検討

-本当に高速道路本線上の着陸でなくても良かったのか？

本多 ゆみえ、秋枝 一基、守田 誠司、飯塚 進一、青木 弘道、福嶋 友一、
辻 友篤、中川 儀英、山本 五十年、猪口 貞樹
東海大学 医学部附属病院 高度救命救急センター

16:10-16:30

イブニングセミナー

座長：山木 垂水（京都九条病院 院長）

降圧療法で交通事故死傷者低減を

一杉 正仁（獨協医科大学法医学講座）

共催：協和発酵キリン株式会社

16:35-18:05

シンポジウム S 2 交通事故と死後画像診断（Autopsy imaging）

座長：山内春夫（新潟大学大学院医歯学総合研究科法医学分野 教授）

河野元嗣（筑波メディカルセンター病院 救命救急センター長）

S2-1 交通事故におけるオートプシー・イメージング - CT と MRI を使った評価 -

塩谷 清司¹、河野 元嗣²、菊地 和徳³、早川 秀幸⁴

¹筑波メディカルセンター病院放射線科、

²筑波メディカルセンター病院 救命救急センター、

³筑波メディカルセンター病院 病理科、⁴筑波剖検センター法医学

S2-2 法医学からみた死後 CT の利点、欠点

岩瀬 博太郎 千葉大学大学院医学研究院法医学教室

S2-3 死因究明における死後 CT の有用性

- 25 例の病理解剖と死後 CT の比較検討から -

高山 泰広、直江 康孝、小川 太志、田上 正茂、加茂 潤

川口市立医療センター 救命救急センター

S2-4 救命救急病院における死後画像診断 放射線科医の立場から

高橋 直也¹、広瀬 保夫²

¹新潟市民病院放射線診断科、

²新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター

S2-5 オーストラリアと日本の法医学における死後画像診断

飯野 守男（大阪大学大学院医学系研究科 法医学）

18:20-20:00

情報交換会

2日目 6月12日(土) プログラム

9:30-10:35

一般演題 G 3 事故回避

座長：三林 洋介（東京都立産業技術高専医療福祉工学コース 准教授）

G3-1 視覚障害者用道路横断帯の突起の高さと足裏による検知性

大倉 元宏¹、天野 博透¹、鄭 艶¹、鈴木 慶祐¹、井上 崇也¹、栗原 貴文¹、
林 斉²、中川 幸士³

¹成蹊大学理工学部、²大崎工業株式会社、³愛媛県視聴覚福祉センター

G3-2 市街地走行におけるブレーキ行動の解析

伊藤 誠 筑波大学リスク工学専攻

G3-3 歩行者事故における接触直前の歩行行動について

松井 靖浩、高橋 国夫、安藤 憲一

独立行政法人 交通安全環境研究所

G3-4 歩行者事故におけるバンパ部分の脚部保護性能評価について

松井 靖浩、細川 成之、田中 良知、米澤 英樹、中里 秀人、高木 俊介

独立行政法人 交通安全環境研究所

G3-5 ドライブレコーダーで見えてきた交通事故の撲滅

大慈彌 雅弘、照山 等 株式会社日本交通事故鑑識研究所

10:45-12:05

シンポジウム S 3 エコカーと環境保全、エコ運転

座長：大久保 堯夫（交通科学協議会会長、健康科学研究所 所長）

松井 靖浩（交通安全環境研究所 主席研究員）

S3-1 生体内温度予測プログラムをコアにした次世代自動車の温熱環境評価・ 制御支援システムの開発

横山 真太郎

北海道大学大学院工学研究科空間性能システム専攻 環境人間工学研究室

S3-2 新しい道路交通技術が環境と交通安全に与える影響に対する配慮

福田 敦¹、岡村誠²

¹ 日本大学理工学部社会交通工学科、

² 日本大学大学院理工学研究科社会交通工学専攻

S3-3 「JAF 誰でもできるエコ運転術」～エコドライブの実践方法について～

吉村 俊哉 日本自動車連盟 交通環境部

S3-4 エコカーの現状と今後の動向

堀 政彦 日本自動車研究所

12:10-12:20

閉会の辞・次期会長挨拶